

## 11 医療機器・情報管理室

当室は2019年4月に設置され、スタッフは医師、臨床工学技士、診療放射線技師合計3名で構成されている。センター内で使用される医療機器の管理と情報システム管理運用を行い、利用者及び職員共に安全で良質な医療・療育を提供するためのサポートを行っている。

### 1. 医療機器管理

センター内で使用される各種医療機器について各種法令に基づき医療機器安全管理責任者と連携し点検保守管理及びスタッフへの研修等を実施し、利用者へ安全な環境を提供することを目標としている。また、本年度より一部の在宅移行の際に臨床工学技士が同行するなど、センター利用者の各種ニーズに合わせた対応を実施している。

#### ○業務内容

- (1) 医療機器安全管理責任者との連携による管理体制の充実
- (2) スタッフに対する医療機器の安全使用のための研修の実施
- (3) 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施
- (4) 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集  
その他の医療機器の安全を目的とした改善のための方策の実施
- (5) 医療ガス日常点検の実施
- (6) 災害時を想定した対策の体制強化

#### ○管理を行う主要医療機器（台数は令和5年3月末現在）

人工呼吸器（24台）、除細動器・AED（4台） 輸液・シリンジ・経腸栄養ポンプ（58台）、生体情報モニタ・パルスオキシメータ（60台）、全身麻酔器（1台）ほか

### 2. 情報システム管理

各種情報システム（医療療育情報システム、職員情報共有システム等）について安定稼働、効果的な活用（保守委託業者との連携含む）を行い、安全で効率的な環境の提供に努めている。

- (1) 運用管理、保守
- (2) システム更新・新規プロジェクトの構築・連携支援
- (3) 情報セキュリティ対応
- (4) 職員への操作及びセキュリティ教育
- (5) ヘルプデスク
- (6) 障害検知及び一次対応
- (7) 情報技術に関して職員の資質向上

#### ○管理を行っている主要システム

医療療育情報システム（電子カルテシステムなど関連システム一式）

職員情報共有システム（グループウェアシステムなど関連システム一式）